

---

# スマブラ逃走中

ぴんくぼおる

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマブラ逃走中

### 【Nコード】

N8745U

### 【作者名】

ぴんくぼおる

### 【あらすじ】

暇つぶしですよねっん。

## 逃走キャラ（前書き）

忘れて更新しないことばかりになりそうです

今回はキャラ紹介

## 逃走キャラ

逃走する人

カービィ ハンターの三分の一くらいの速さ

何度もデデデからププランドを救ってきたが本人に自覚はないとか性別不明である

メタナイト ハンターの五分の三くらいのスピード

カービィに何度もやられてきた世界一かつこいいー頭身男だと主張しているが自分ではわからないらしい

デデデ ガノンとスピードで最下位争いしている

カービィに何度も何度も殺られるがまったく懲りていない男

マリオ mr・NINTENDO何度もピーチを救い何度もクッパを懲らしめてきたわかるだろーが男 ハンターの4分の2くらい(じゃあ二分の一じゃねーかって言わないで)

ルイージ 通称類似・L 一回マリオをお化け屋敷から救い出した結構早く逃げ足はハンターの9999999999倍ただし運がない

ピーチ 何度もマリオにすぐわれてクッパにさらわれての繰り返しな姫

かなり力強い ハンターの四分の一くらいの速さ数少ない女逃走者

クッパ スマブラメンバーの中で3番目に早いカメの

ワリオ スピードはハンターの30分の26結構早い

ドンキー 結構早い

デイディー ハンターの十分の7

リンク ハンターの20分の11くらい

ゼルダ ハンターの10分の3くらいのスピード

サムス ゼロスーツで挑戦女キャラ3人目4番目に早い

アイク 重いラグネルを置いてってるので結構早いハンターの3分の2くらいの速さ

逃走キャラ（後書き）

以上14名が逃走します

## ルール説明&オープニングゲーム

### ルール説明

今回逃走する場所はX国とDX国の二つの小さな国（DXは多分強制移動ミッション）

14人の逃走者がこの二つの国200分間逃走する  
ミッションに行く行かないは逃走者の自由行くと有利になるがミッション中の危険が高まる

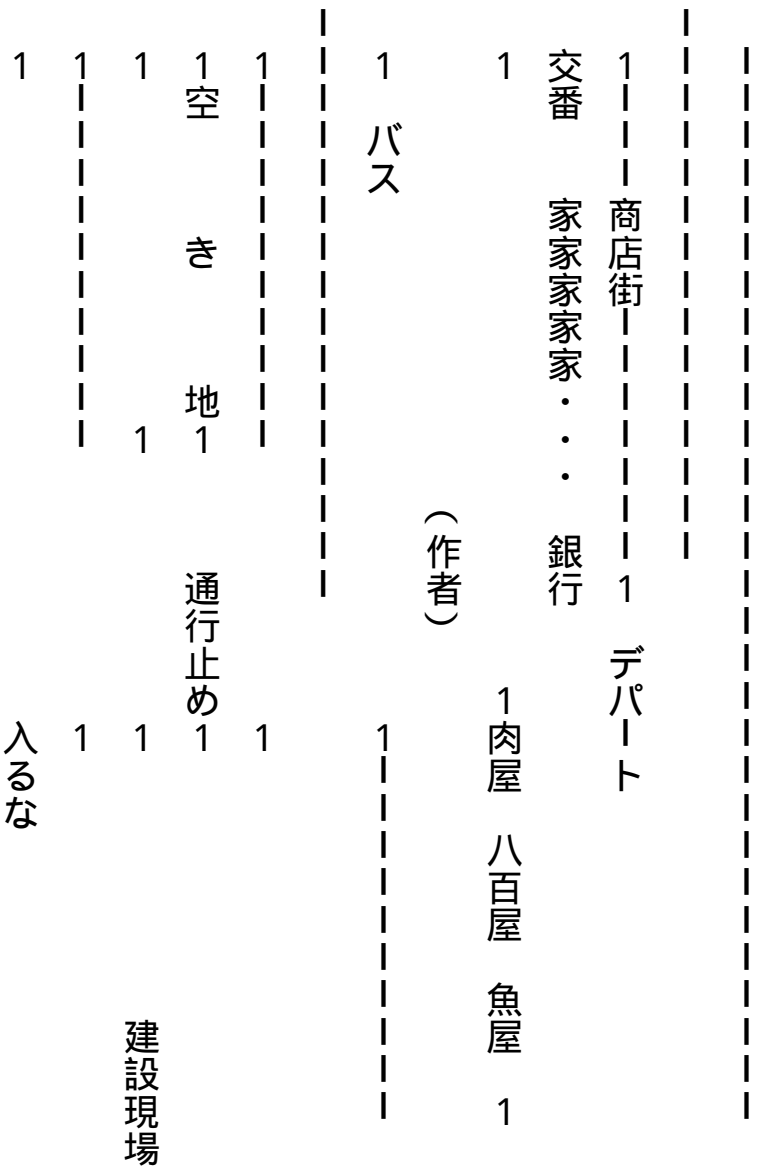
行かないと危険ではないが不利になる

賞金は1秒に200円上がり最大240万円になる

ちなみに作者の気まぐれで逃走者が増えたりハンターが増えたりする

X国には家やビル・当然食べ物屋などの建物もあり・デパートの中にも侵入可能

### X国の図







カービィ「イクヨー」

その他の逃走者は逃げる準備

カービィ「えい」

すぽっ

カービィ「ん？なんだこれ5？」

言い忘れたが合計30以上の数が出ればその瞬間オープニングゲームはクリア

ちなみにハズレは2本ドクロマークと強制失格（笑）の二本ちなみに1〜3の数字にはスマートボムがある

マリオ 赤2を引いてスマート

メタナイト 青4でセーフ

クッパ 赤緑3でsボム

ルイージ「緑引くぞ」

「えい」

すぽっ

類似「うを 強制失格（笑）」

これで類似はゲームに参加できないでも数字は10

残りは6だ

アイクエメラルドで3スマ

ドンキーマゼンタで1

サムス「よくわからない色を選ぶわ」

デイディー「なんで？」

サムス「こーゆーのわたいで違つものよ」

すぽっ

サムス「2だ」

これでオープニングゲームはクリア逃走者に3分の暇が与えられる

続く

## ルール説明&オープニングゲーム(後書き)

スマートボムは後のミッションで役立ちます

ミッション１（前書き）

津吊来手集

## ミッション1

ぷるるるる「っる

マリオ「なんだ」

カービィ「確保されたの？」

アイク「ミッション1」「え？もうミッション？」

リンク「これよりハンターボックスを100個配置する」「え？」

ゼルダ「阻止するにはどこかでうるついている」

ワリオ「スネークを探して」

ピーチ「C4爆弾を受け取り」

デデデ「第四エリアの巨大ハンターボックスに5個くっつけて」

メタナイト「一気に爆発させる」危ないミッションだな」

マリオ「カービィ、行くか」

アイク「肉食べたら行」

すこぶるお気楽なアイク

リンク「スネークさつき交番にいたような・・・」

メタナイト「あれはスネークか」

スネークはどつやら交番にいたようだ

メタナイト「メールしょ」

しかしそんなメタナイトの近くに黒い影

ハンター「……」

見つかった……

メタナイト「うわハンター」

きずくのが遅かったため最早逃走不可能

ピーーーーーーーーーーーーーーーー

ハンターは機械音を出しメタナイトにロックオン

ぼん

カービィ「スネークさんどこ」

ぴりりりりりいりりいりりい







ミッション2・1(前書き)

その4

## ミッション2-1

デイディー「メールだ」

ゼルダ「ミッション2」

カービィ「これよりハンターBOXと逃走者BOXを配置する」

リンク「これより残り時間が170分になるまでこの二つをどこかに配置する逃走者ボックスは」

サムス「レバーを引き上げ」

ドンキー「ハンターボックスはレバーを下げる」

マリオ「なお逃走者ボックスにはソニック マルス マスハンが入っている。え？マスハン？」

一同「これってマスハンがめーるしてるんじゃないの？」

作者「僕がメールしてるんですよ」

そうこうしてるうち残り時間が180分

ソニック「暇だZE」

マルス「だれかこないかな？」

マスハン「狭い」

カービー「あれって逃走者ボックスかな」

偶然近くにいたカービー

カービー「こつするんだよね？」

がちゃ

プシュ

マルス「ありがとカービー」

なかにいたのはマルスだ

津吊駈

ミッション2・1(後書き)

続きます

ミッション2・2 (前書き)

亜<sup>あ</sup>?素<sup>す</sup>時<sup>じ</sup>

前回マルスは解放された

## ミッション2-2

マスハン「本当狭い」

奥行き1メートル横1メートル高さ2メートルでマスハンを にす  
ると

全部2メートルだから狭いのかもしれない

アイク「残り時間175分」

クツパ「もう30万円なのだ」

カービィ「これって自首できんの?」

言い忘れたが自首電話BOXは倉庫の前にあるぞ」

マルス「あれハンターBOXかな」

がちゃ

マリオ「あミッション終了だ」

プシュ」

ミッション失敗ハンターが増えます

クツパ「あ」

マリオ「クツパ確保」



牢獄DEトーク  
類似「暇」

メタナイト「まったくだ  
クツパ」・・・」



































続  
く

ミッション3・1(前書き)

クツパ確保

## ミッション3-1

前回のあらすじ+付け足し  
あらすじミッション失敗マルス解放 ハンター2体消去 ハンター  
3体解放これでハンターは6体になった

ぷるるるるるるるるるるるるるるるるるる

マリオ「何々」

カービィ「ミッション3」

リンク「これよりハンター100体を投入する 100?!」

ゼルダ「これを回避するには」

ドンキー「うほうほ」(どこかにいる作者を見つけて)

デイディー「うきゃきゃ」(DX国に一時的に避難して)

アイク「にげる!」

サムス「ただし残り時間が130分になると作者は帰ってしまっ」

リンク「その前に作者を探せ!」

カービィ「なお後5分するとハンターが入ってくる」

マリオ「そー湯ーことだからガンバ」

当たり前だが全員参加

アイク「あれは肉屋か」

今食べる気か

アイク「やめとこ今金持っていないし」

カービィ「あれは「ぴんくほおる」」

作者です

カービィ「ラッキ」

カービィミッションクリア

5分たったのでハンターが増えた

マルス「作者いたけど動けない」

ハンターに囲まれてるマルス

ドンキー「うほっほっほ？」

見つけた・・・

ドンキー確保

?漬?(つづく)

ミッション3・1(後書き)

あーあ

ミッション3・2(前書き)

ドンキー確保

今までの確保者

メタナイト

L

ドンキー

クツパ

## ミッション3・2

あらすじ この所出番なしのドンキー確保 市街地 (家家家家)  
の近くのカービィクリア  
あらすじ終わり

サムス・マリオ「ハンターどっかいつてくれ・・・」

見事にハモっている二人

アイク「作者だ」

作者「アイク急げ〜ハンター(・・・)いるぞ〜」

アイク「なんですと〜!」

やっぱり無表情なアイク

作者「アイク〜がんばって〜」

お気楽作者

アイク「早く〜」

アイクミッションクリア

アイク「危なかった・・・」 (やっぱり無表情)

マリオ「嘘〜」

ピーチ「マリオ確保 あ〜マリオ〜」

ワリオ「目標達成 (嬉しげ)」

マルス「作者だ」

マルスクリア

ディディー「うききゃ」

クリア

リンク「みつけた」

リンク「その前にメールメール」

作者は市街地にいます



リンク

逃走者たち「市街地か」

逃走者「クリア」

残り逃走者ミッションクリア

都積駟

ミッション3・2（後書き）

メッチャンコクリアした逃走者

## 復活ゲームの始まりだぜ（前書き）

L・マリオ・クッパ・ドンキー・メタナイトの復活劇



T I M E U P

マリオ・メタ・レミッションクリア

通吊狗<sup>cr</sup>

復活ゲームの始まりだぜ（後書き）

3人復活

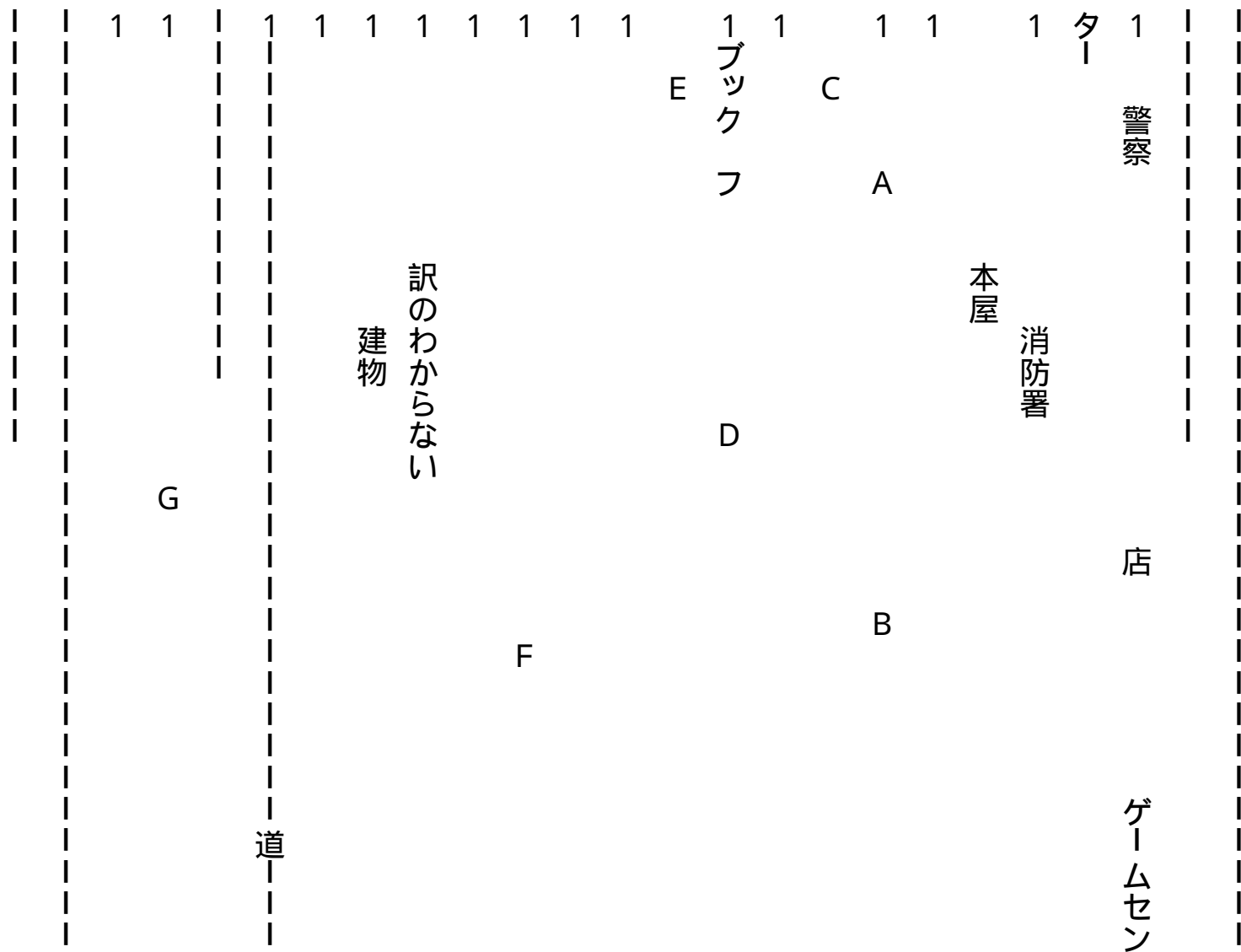
## DX説明（前書き）

5人のうち三人も復活しました！



## DX説明

謎の人物の声「これよりDXステージの説明を始める」



白い所は空き地 A～Gのアルファベットは空き地番号

スマートボムは逃走者BOX(小説を読みましよう)を破壊できる



アナウンス  
作者「読者の皆さんにお知らせです」

アナウンス  
作者「この小説に登場したい人は感想の所に名前・特徴・速さ・運  
の良さ・言葉の特徴などを書いてください」

## DX説明（後書き）

作者の話聞きました？

あと締め切りの九月十日まで更新しません

新しい逃走者&スマキャラの目標・使い道（前書き）

タイトルどおり

## 新しい逃走者&スマキャラの目標・使い道

作者「今回はタイトルどりの内容っす」

カービィ「作者キャラ変わってない？」

作者「キニスンナ（ぼーよみ）」

逃走者（なげぼうし）（なぜ棒読み？）

作者「まずは前者新キャラ？」

作者「ひとりめは「レナ」さんです 金髪に黒い服ハンターに見つかりやすそうな特徴」

作者「二人目は「ドットマリオ」さん（以降Dマリオとする）眼鏡をした古いマリオさん」

作者「じゃあ次はキャラの目標など」

カービィ「自首成功！」

カービィ「世界を食べて回る」 残りはワドちゃん（ワドルディ）と豪華なランチする！」

メタナイト「逃走成功！ 武者修行の旅の資金残りは貯金・老後の生活に」

デデデ「クツパに負けない 貯金する」

マリオ「逃走成功！クッパに負けない ピーチとドルビックに行く  
残りは貯金」

類似「僕は・・・」 作者「カットしまーす」

ピーチ「マリオと同じ」

クッパ「マリオに負けない」

ワリオ「苦つ派クッパと同じ」

ドンキー&でいでいー「BANANA」

リンク「逃走成功」

ゼルダ「リンクと一緒に」

サマス「逃走成功」

アイク「逃走成功 にく肉にく肉にく肉にく肉」

マルス「逃走成功」

ソニック「逃走成功 ルームランナー買う」

マスハン「逃走成功」

ミッション4-0・3(前書き)

新キャラ登場!



## ミッション4-0・3

作者「とーとつだが新しく出てきたキャラを紹介するぞ」

マリオ「前回でもう紹介してるから省略」

カービィ「当たり前のことだよね」

数分後…

作者「ついでにミッション言うぞ」

作者「ミッション4 なぜだか知らんが亜空軍がいる 今は悪さをしていないが」

作者「あと15分するとタブーが命令して人を襲ってしまおう」

作者「だからそのまえに町の人を避難させてくれ逃げ遅れた人10人につき一人」

作者「ハンターが増える町の人100人いるぞ」

作者「一気に避難させないと混乱するから時間がかかる」

作者「まあがんばれば後一分で逃走開始する」

ミッション4-0・3(後書き)

説明だけになっちゃったよ

## ミッション4・1（前書き）

追記

マスハン「これは読者だけに言っぞ警察でメガホンを借りられる」

マリオ（聞いちゃった？聞いちゃった）

マスハン「あ」

## ミッション4-1

マリオ「さっそくけーさついでー」

カービィ「正確なことは前書きを読んでね」

アイク「誰に話してんだ？」

マスハン「じゃあ箱に入ろっぜ」

マスハンとソニックは爆弾（以降BOM）で復活？させられる

作者「開始三分前…」

!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!スタート!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

マリオ「うっせー」

その後ルイージとカービィとマリオがメガホンゲットここまでわずか五分

マリオ「みなさん避難してください！」

類似「亜空軍がいまーす」

カービィ「G空き地に避難してください」

所変わってメタナイトはとらうと…

メタ「変な形の箱だ」

マスハン在中です

アイク「メタナイト何やってんだ？」

メタ「あBOMちようだい」

アイク「ほれ」

箱にスマートボムをぶん投げますか？

？はい

いいえ

アイク「DQみたい」

ちゅどーん

マスハン「ぎゃあああああああ！！！！！！！！！！」

マスターハンドを倒した！

経験値を7500ゲット！

アイクはLV10から

LV99に上がった

メタナイトはLV10から（以下同文）

アイク

スタミナ10?80

その他そのまま

メタナイト

素早さ20?100

その他スマブラメンバー

全ステータスが999になった!

アイク メタ マスハン 「なんでやねん!」

カービー「なんか強くなった気がしなくはない」

^U,U@#U^U,U

## ミッション4・2（前書き）

長いことすいません

たぶん2月の10日になれば…いける！

追記 今のハンター数は3人です



## ミッション4-2

前回マリオたちはメガホンげつと

住民共「きゃー」

住民はどんどん避難していく10人逃げた

残り逃走時間100分

デデデ「もう結構金がたまったZOY」

残りミッション時間3分

マリオ「この辺に人いないな」

2分30秒後

カービィ「あと30秒しかないし」

リンク「…！ハンターだ！」

マリオ「マジ！？」

カービィ「しかもふたりいる」

マリオ「とりあえず」

マリオ達「逃げる〜」

リンク「十字路です」

マリオは左 リンクは中 カービィは右に行った

マリオ「なんでこっち〜!?!」

リンク「こっちこないで〜」

ピーチ「ミッション行くとハンターに見つかるしな〜」

ピーチ「!?!?あれってリンク? ダッシュしてるけど まさか?」

ピーチがちよつと逃げた瞬間ミッション終了ハンターが12人にな  
つちまつた〜

び—————

ポン      ポン

リンク「あ————」

ピーチ「きゃ————」

アイク「メール?」

ピーチとリンク確保

ミッション終了ハンターが12人になった

クツパ「こつちくんな」

メールが見れない亀

クツパ確保

ディディー確保

一方マリオは何とか振り切っていた

続いていいしょ

ミッション4・2(後書き)

大波乱

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8745u/>

---

スマブラ逃走中

2011年12月17日09時48分発行